

2020年4月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【2月募集】入学試験問題

講座／プログラム	国際法政、公共法政
小論文（法学・政治学一般）	

問 次の文章は、最高裁判所の判事も務めた行政法学者の回顧録の一節である。以下の文章を踏まえて、学者（学説）の思考経路の特徴と対比させつつ、裁判官（裁判）の思考経路を整理した上で、学者（学説）が裁判官の判断にどのように貢献しうるかについて、あなたの考えを述べなさい。

※藤田宙靖『最高裁回顧録——学者判事の七年半——』135頁～138頁（有斐閣、2012年）より抜粋。なお、出題の都合上、一部加工した箇所がある。

以上